

## 米国 プエルトリコ政府の一時閉鎖による変動を除けば増加トレンド持続 (5月20日までの週の新規失業保険申請件数)

06年5月25日(木)

～プエルトリコ政府の業務再開により前週から大幅増～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

(03-5221-5001 : [seiji@dlri.dai-ichi-life.co.jp](mailto:seiji@dlri.dai-ichi-life.co.jp))

### 32.9万件と市場 予想を上回った

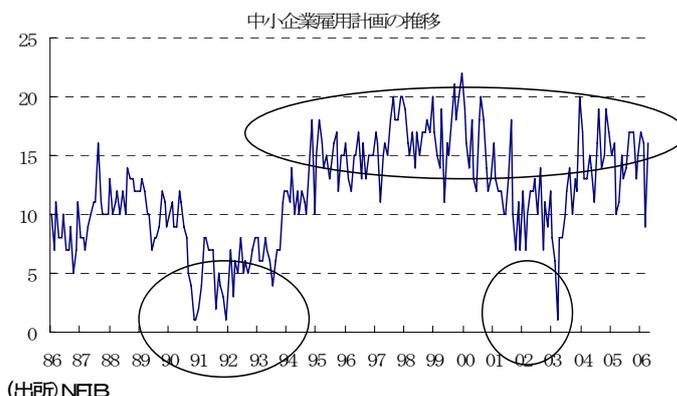
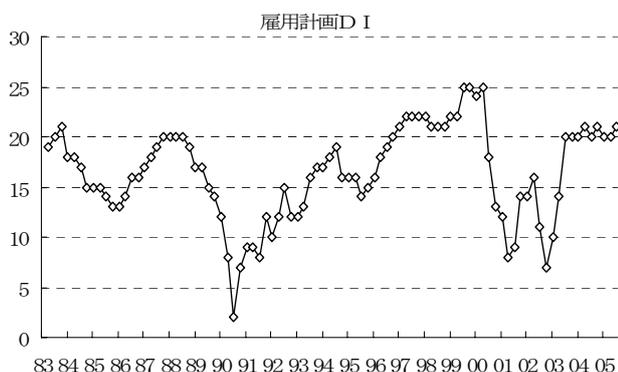
06年5月20日に終わった1週間の新規失業保険申請件数(季節調整済み)は、32.9万件と市場予想の31.5万件を上回り前週の36.9万件から4.0万件減少した。前々週の数値を押し上げたプエルトリコ政府の一時閉鎖が前週解除されたため全体が押し下げられた。また、トレンドを示す4週間移動平均は、特殊要因を除いたベースで32.6万件と前週の32.2万件から増加した。新規失業保険申請件数は、暖冬によって水準が切り下がっていた部分が徐々に剥落しており、安定的な雇用の拡大を示唆する水準まで上昇した。

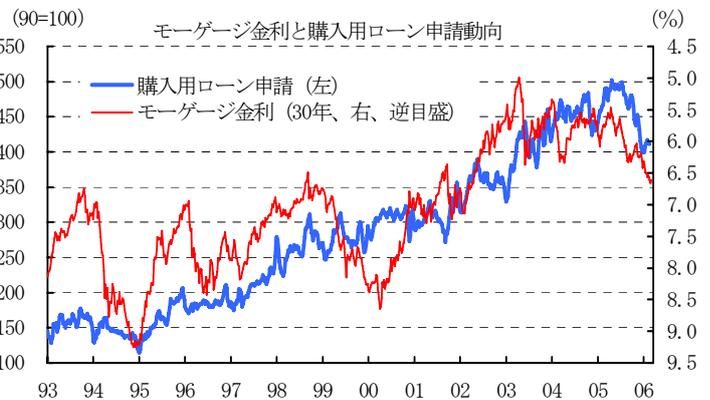
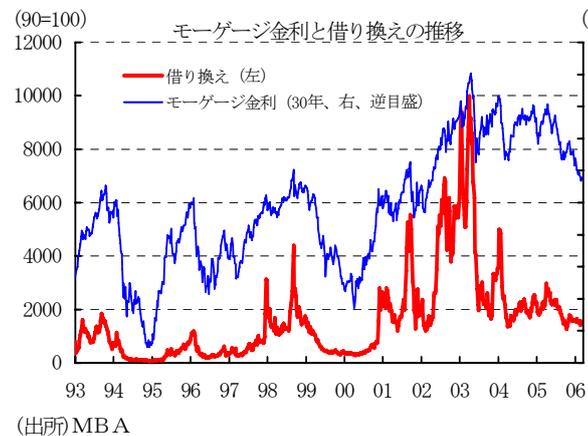
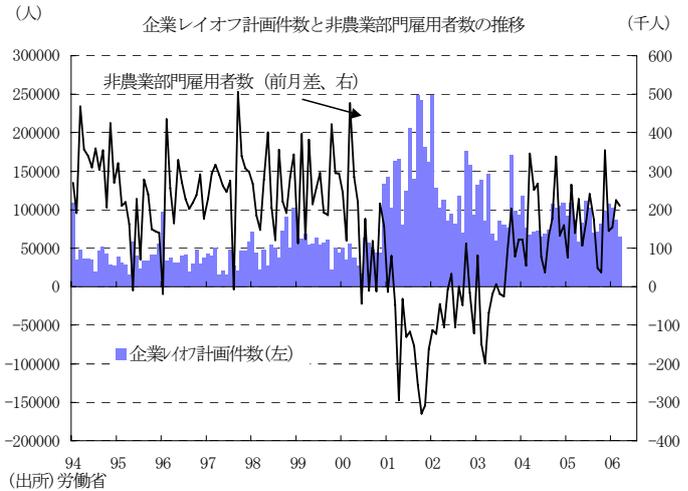
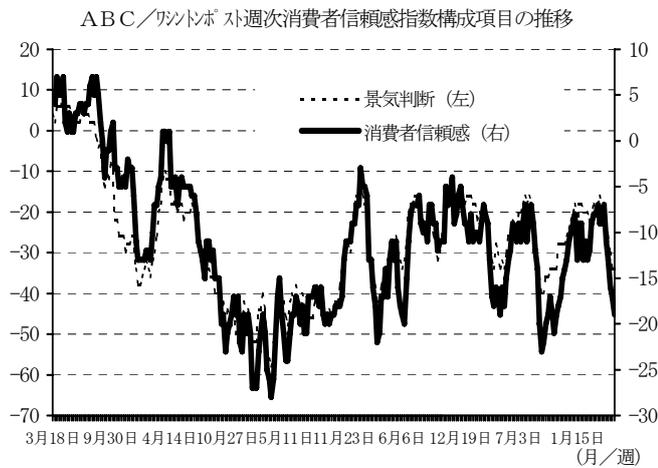
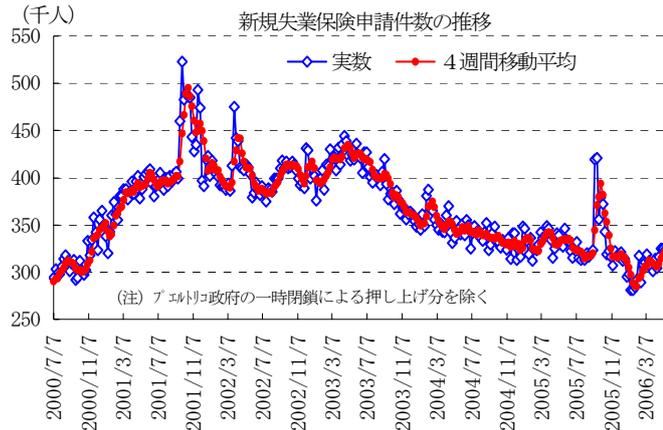
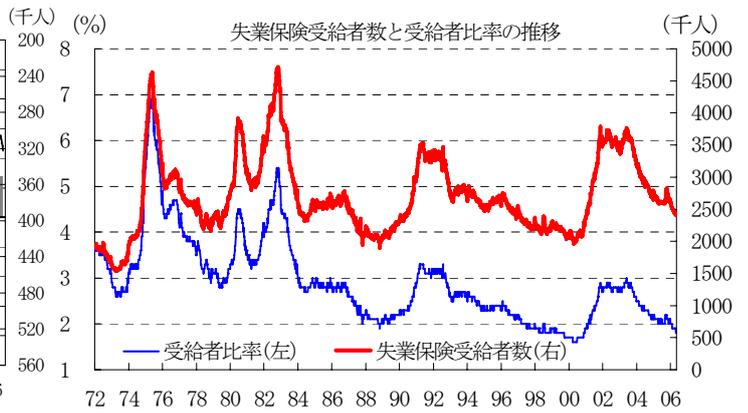
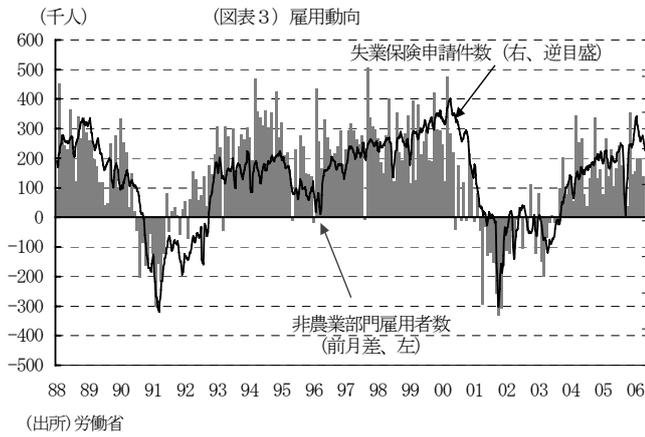
5月の雇用統計調査週である5月13日に終わった1週間の新規失業保険申請件数(季節調整済み)は、特殊要因を除いたベースで32.3万件と速報から小幅上方修正された。4月の雇用統計調査週から増加しているが、非農業部門雇用者数は4月に拡大ペースが大幅に鈍化したことから5月には前月差+190千人程度が予想される。なお、プエルトリコは事業所調査の対象地域外のため非農業部門雇用者数には影響がでない。

5月13日に終わった週の失業保険受給者数は242.0万人と前週から増加したが、01年1月以来の水準で推移している。また、5月13日に終わった週の失業保険受給者比率が1.9%と4月と同水準で推移したことから、5月の失業率は4.7%前後にとどまる可能性が高い。

### 雇用は現在の拡大 トレンドを維持

雇用を取巻く環境をみると、国際競争の激化や投入コストの上昇が続く中、一部の企業はコスト削減のため、レイオフ、採用抑制を続けると予想される。その一方で、雇用に先行する景気が2003年4～6月期から2006年1～3月期まで平均して潜在成長率を上回るペースで拡大しているなか、2006年4～6月期の新規雇用計画調査や経営者団体の景況調査における雇用計画などで採用拡大が示唆されていることから、多くの大企業で採用意欲が強まっていると判断される。加えて、雇用の大部分を占める中小企業の景況感が4月に改善し、雇用計画は上昇していることから、雇用者数は2006年7～9月期にかけて前期比+0.3%～+0.5%のトレンドを維持すると予想される。





本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。